

# 西多摩健康フォーラム2002

## 西多摩保健医療圏

実施年度	開始 平成9年度
背景	<p>(1) 平成9年の地域保健法施行に伴い、新たな保健所の役割として企画・調整機能等の強化が行われた。</p> <p>(2) ヘルスプロモーションに基づく「健康なまちづくり」の新しい潮流が生まれている。</p> <p>(3) 過去5回の取組を通じて、ネットワークの広がりが着実に広がっており、関係機関・団体等から事業の継続が求められている。</p>
目標	<p>(1) 保健・医療・福祉等の様々な分野間の情報交換、活動交流の場を設定し、健康なまちづくりネットワークを構築する。</p> <p>(2) 西多摩圏域の人々が、ヘルスプロモーションの理念を共有し、健康なまちづくりに向けての合意形成を図る。</p> <p>(3) 地域で活動する人々、団体、関係機関等が、この取組を通じ、互いに学び合い、更にその活動に活かすことにより、健康なまちに向けての基盤をつくる。</p> <p>(4) 「健康都市東京」の実現に向けた西多摩地域の取組や成果を広く全都に発信する。</p>
事業内容	<p>平成9年度から、保健・医療・福祉等の様々な分野間の情報交換、活動交流の場の設定、健康なまちづくりネットワークの構築、西多摩圏域の人々がヘルスプロモーションの理念の共有を目的として開催している事業である。</p> <p>今年度のフォーラムでは、西多摩地域で健康活動を行っている団体、医師会、産業保健、学校教育などの関係者、西多摩8市町村の保健推進員の活動内容等を報告する企画及び開催市町村と保健所が共同で検討した健康づくり事業を発表する企画を実施することとした。</p> <p>今年度のフォーラムでは、新たに市町村・地域支援と地域の健康課題を明確化して地域活動、施策につながる企画とした。</p>
評価	<p>(1) 地域からのメッセージでは、医師会、歯科医師会など関係団体、コンビニエンスストア、地域の企業からも健康づくり活動を報告してもらうなど、地域の健康づくりを多面的にとらえられる企画として構成し、それぞれの活動内容を把握した。</p> <p>(2) 展示では、展示物の掲示だけでなくプレゼンテーションを実施することで、事前の打ち合わせ、会場での交流を通じて各地域の情報交換などを行うことができた。</p> <p>(3) 健康づくり事業提案では、保健所と瑞穂町が共同で事業を検討していく段階で、事業の問題点、地域の健康課題などを明らかにし、地域を支援する手法として評価できる内容となった。</p>
問い合わせ先	<p>多摩川保健所 地域保健推進室 計画調整係</p> <p>電話 0428-22-6141</p> <p>ファクシミリ 0428-23-3987</p> <p>E-Mail S0000341@section.metro.tokyo.jp</p>

## 西多摩健康フォーラム2002実施結果

### 1 フォーラム2002開催概要

- (1) テーマ 「みんなで元気・健康西多摩」  
～健康であること、いきいきと暮らすこと～
- (2) 日時 平成14年11月9日(土) 11:00～15:30
- (3) 会場 瑞穂スカイホール
- (4) 主催 西多摩健康フォーラム2002実行委員会
- (5) 後援 健康づくり都民会議  
財団法人東京都健康推進財団
- (6) プログラム

プログラム名	テーマ	概要	参加団体名
地域からのメッセージ	ひろげよう健康づくりのパートナー	関係団体・企業・学校・行政・住民などから健康づくり活動発表を行った。	ミニストップ(株) お母さんの体操サークル (株)東芝 JAあきがわ 西多摩歯科医師会 西多摩医師会 日の出町福祉健康課 都立秋留台高等学校 多摩川保健所・秋川保健所
健康づくり事業提案	「みんなで歩こう瑞穂町」の事業企画提案	瑞穂町と保健所で共同検討した事業を報告した。	瑞穂町保健課 瑞穂町健康づくり推進委員 多摩川保健所
展示	交流の輪を広げる	展示会場でプレゼンテーションを行い、情報交換・交流を促進した。	西多摩8市町村健康づくり推進員等

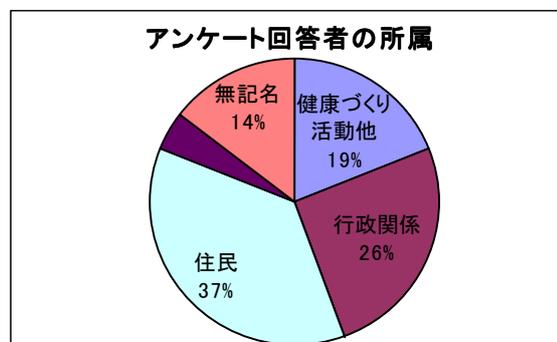
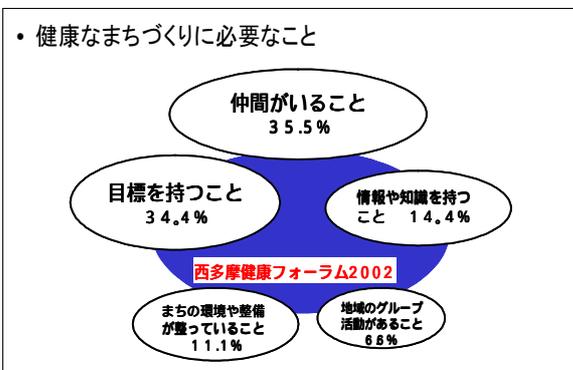
### (7) 参加者

保健・医療・福祉等地域で健康づくり活動に携わる団体・関係機関の代表者  
323名

### (8) 実行委員会構成団体

医師会・歯科医師会・薬剤師会・獣医師会・食品衛生協会・環境衛生協会・集団給食協議会・民生児童委員協議会・商工会・地元企業・社会福祉協議会・教育委員会・小中学校・西多摩8市町村等

## 2 当日の参加者アンケート（配布数238人・回答90人）



### 全体の感想

#### 【内容面】

- ・各分野、団体の参加もあり、ネットワークの広がりを感じた。
- ・展示の場で市町村の発表を聴くことができ、活動の参考になった。
- ・フォーラムを通じて町の健康づくり事業が実施できたことがすばらしい。
- ・フォーラムの成果が定着することを願います。

#### 【運営面】

- ・もっとたくさんの方に参加してもらえよう工夫が必要だ。

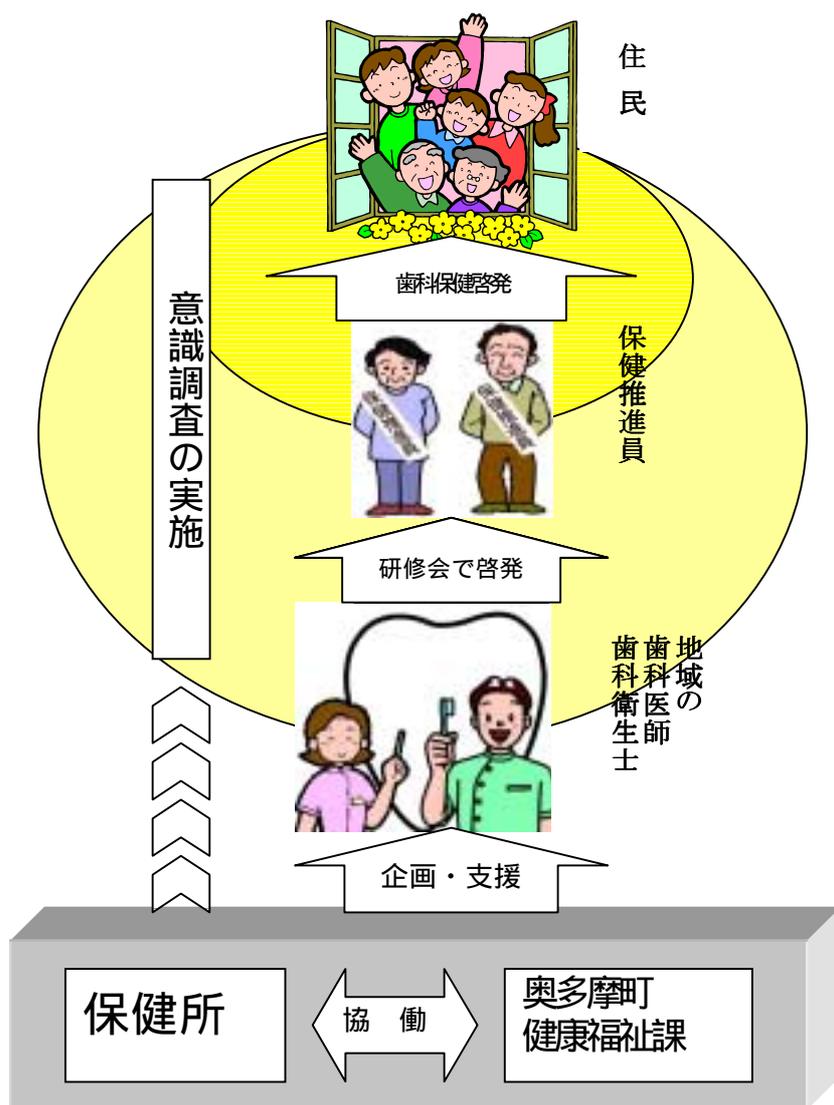
# 西多摩地域における「東京都健康推進プラン21」の展開—地域 歯科保健を推進する「歯と口の健康づくり保健推進員」の育成—

## 西多摩保健医療圏

実施年度	開始 平成14年度、 終了(予定) 平成15年度
背景	当地域ではライフステージを通じた歯科保健活動を展開してきたが、歯科疾患の現状は東京都全体と比べるとむし歯本数が多いなどの差が見られる。歯科疾患は生活習慣と密接に関係しており、住民が主体的に地域ぐるみで生活習慣の改善に取り組む必要がある。そこで、保健推進員活動の中に歯科保健を導入して住民に啓発し歯科保健意識の向上を図る。
目標	<p>1 計画全体の目標</p> <p>(1) ライフステージを通じたむし歯・歯周病予防に地域ぐるみで取り組む体制をつくる。</p> <p>(2) 地域で活動する「歯と口の健康づくり保健推進員」(今回は奥多摩町)を育成する。</p> <p>(3) だれでもできる健康教育・媒体づくりを行う。</p> <p>2 14年度の目標</p> <p>(1) 奥多摩町における歯科保健行動意識を把握する。</p> <p>(2) 町の現状を関係者に理解してもらい、地域活動に生かす。</p> <p>3 15年度の目標</p> <p>(1) 保健推進員活動を通じて、地域の歯科保健意識の向上を図る。</p> <p>(2) 本事業実施後の歯科保健行動に係る意識の変化を把握する。</p>
事業内容	<p>1 保健推進員、町職員、地元歯科医師・歯科衛生士に事業趣旨を説明した。(6回)</p> <p>2 保健推進員や1歳児から5歳児がいる世帯を対象に歯科保健生活習慣調査を実施した。(各1回)</p> <p>保健推進員は6月、1歳児から5歳児がいる世帯は7月に、郵送で歯科保健を中心とした項目について調査を行った。</p> <p>3 地元歯科医師・歯科衛生士を講師として保健推進員を対象に研修会を開催した。(2回)</p> <p>4 町の現状を関係者にフィードバックした。(6回)</p> <p>5 保健推進員活動を中心に、地域ぐるみのむし歯・歯周病予防を推進した。</p>
評価	<p>1 以下の三点により、これからのヘルスプロモーション活動を展開する足がかりができた。</p> <p>(1) いままでかわりなかった保健推進員と意見交換が可能になった。</p> <p>(2) 住民の歯科保健に対する意識を把握できた。</p> <p>(3) 町の現状を地域の関係者に提示し、共通理解を得た。</p> <p>2 今後は次の二点に特に重点をおき、地域への働きかけを強化する必要がある。</p> <p>(1) 保健推進員等に歯科保健の重要性をより深く理解してもらう。</p> <p>(2) 幼児期・学童期の保育・教育関係者と交流し、活動の幅を広げる。</p>
問い合わせ先	<p>多摩川保健所保健サービス課 歯科指導担当係長 五十里一秋</p> <p>電 話 0428-22-6141</p> <p>ファクシミリ 0428-23-3987</p> <p>E-Mail S0200160@section.metro.tokyo.jp</p>

# 保健推進員が地域に広げる！

## 歯の大切さ



推進員活動の一コマ



研修会風景



# 奥多摩町民歯科健康調査結果概要

## 1 調査目的

歯と口の健康づくりを推進するための基礎資料を得る

## 2 調査対象

奥多摩町在住の幼児及び保護者

## 3 調査時期

平成14年7月

## 4 調査方法

調査用紙を保健所から対象世帯あてに郵送し、同封した封筒にて回収した。  
一定期日までの未到着分は、保健推進員に回収を依頼した。

## 5 回収状況

保護者	127名発送	89名回収	回収率70.1%
幼児	170名発送	107名回収	回収率62.9%

1歳児	20名
2歳児	20名
3歳児	26名
4歳児	22名
5歳児	19名

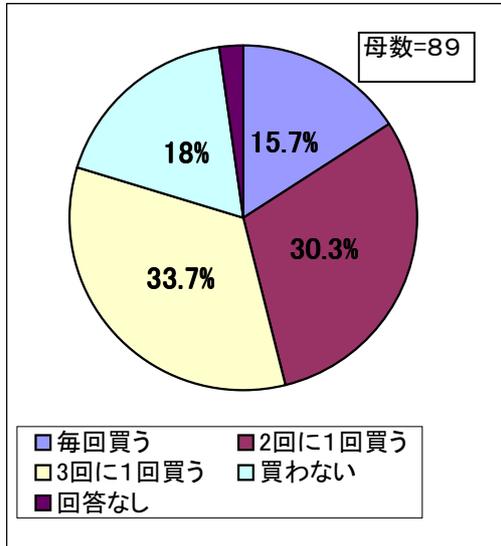
## 6 調査項目

項目	保護者	幼児
①生活習慣	○	
②アメ・チョコ・アイス等甘いお菓子を食べる回数	○	○
③ジュース・乳酸飲料・スポーツドリンク等甘い飲み物を飲む回数	○	○
④甘いお菓子や飲み物を置く場所	○	
⑤買い物時に子どもに甘いお菓子や飲み物をねだられた場合の対応	○	
⑥近所の方が自宅に来た際に甘いお茶菓子をいつも出す割合	○	
⑦友人が遊びにきた時いっしょにお菓子をいつも食べる割合	○	○
⑧口の中の健康保持で気をつけていること 保護者が子どもの歯や歯ぐきの様子を観察する割合	○	○
⑨フッ素入り歯磨き剤の使用状況	○	○
⑩かかりつけ歯科医院の決定および保健サービス利用状況	○	
⑪口の健康が全身の健康に大きく関わることを知っている割合	○	○

# 主な調査結果

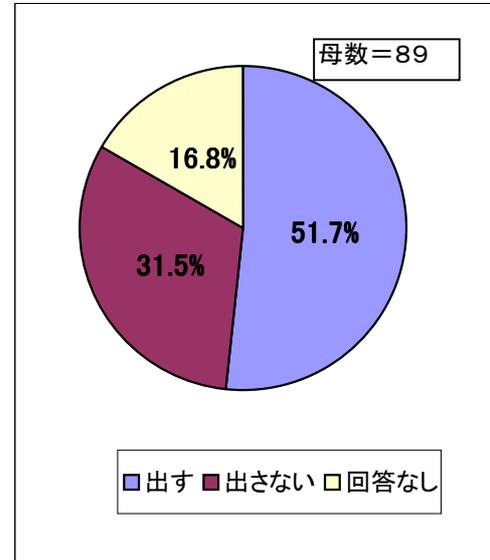
○ 幼児の保護者が買い物時に子どもに甘いお菓子や飲み物をねだられた場合の対応

半数近くの家庭で2回に1回以上買っていた。



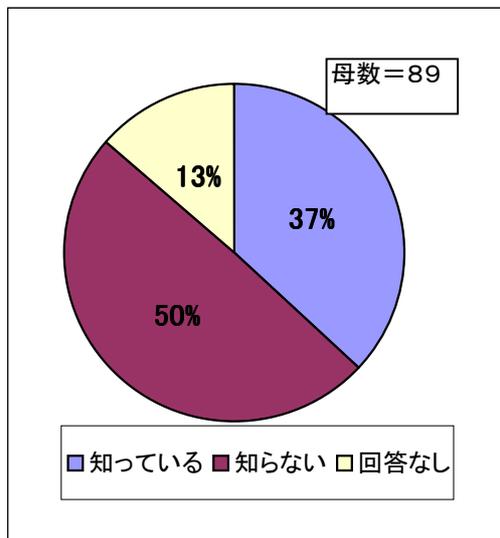
○ 幼児の保護者が近所の方がお宅に来た時に甘いお茶菓子等をいつも出す割合

半数の家庭で甘いお茶菓子をいつも出していた。



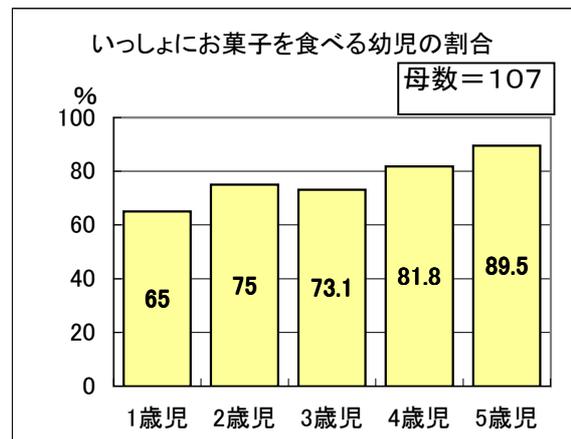
○ 喫煙は歯周病を進行させることを知っている保護者の割合

「知らない」は50%で「知っている」37%を上回っていた。



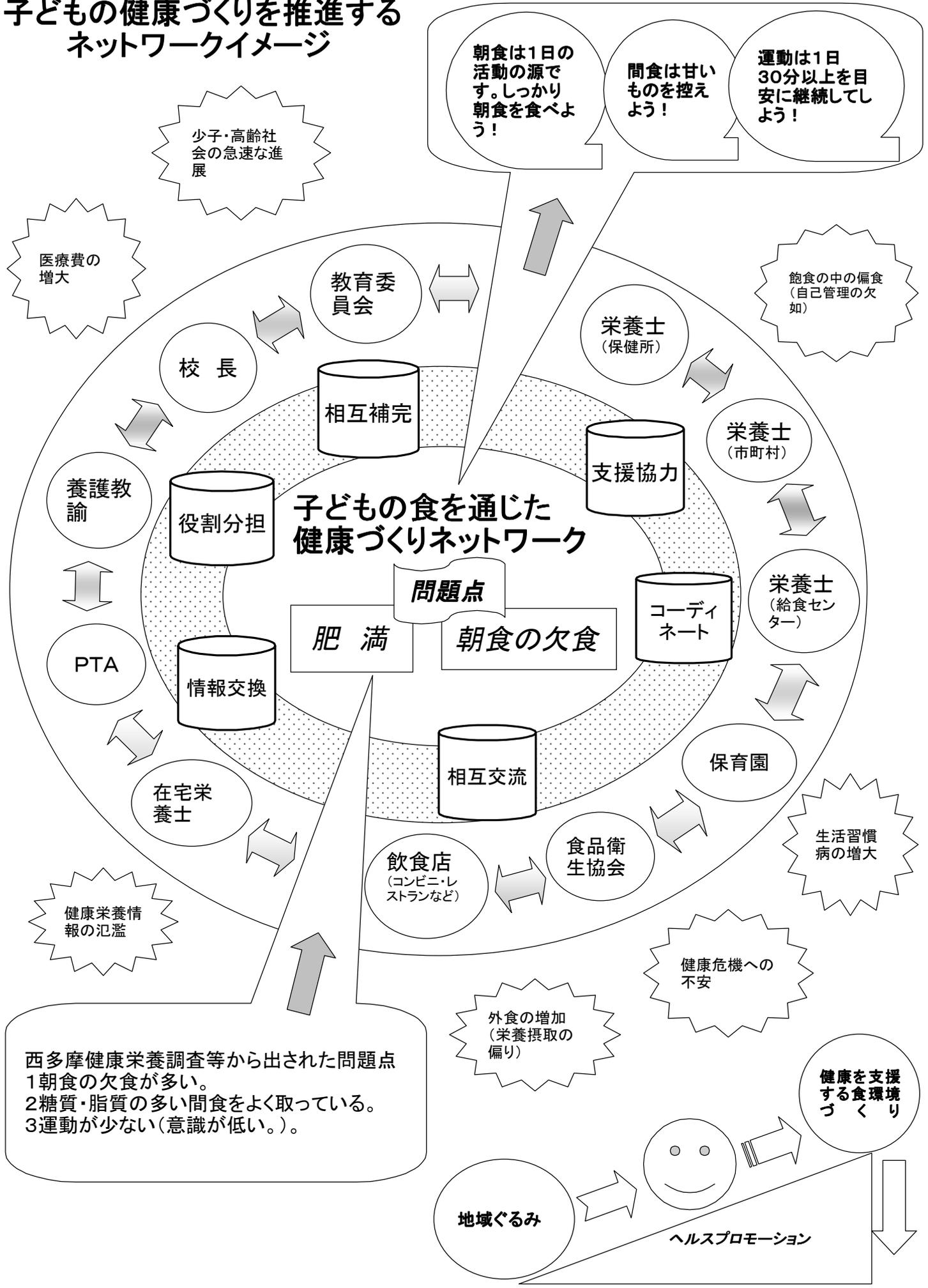
○ 友人が遊びにきた時いっしょにお菓子をいつも食べる幼児の割合

1歳で65%がいっしょに食べていて、年齢があがるごとに、食べる割合が増加傾向であった。



学校保健との連携「子どもの食を通じた健康づくりネットワーク」	
西多摩保健医療圏	
実施年度	開始 平成14年度                      終了(予定) 平成16年度
背景	<p>1 平成11年度から平成13年度までに実施した西多摩健康栄養調査等の結果、生活習慣病対策の問題点や課題が明らかになった。特に児童・生徒の肥満や朝食の欠食などの問題を解決するためには個人の努力に加えて、<u>社会的取組として支援する仕組みづくり(ネットワーク)</u>が重要である。</p> <p>2 地域全体で取り組む仕組みづくりを構築するには、だれもが共通課題として取り組みやすい「食」についてのネットワークを作ることが効果的である。</p> <p>3 生活習慣病予防には、子どもの時からの健康づくり対策が重要であり、学校と協働した事業の実施など「学校保健との連携」を更に充実強化することが必要である。</p>
目標	<p>保健所が拠点となって住民や関係機関・団体等の連携を図った推進体制を確立する。当面の目標として『食』を切り口に「子どもの健康づくり」に視点を当てた取組を行う。なお、今回は羽村市をモデル地区として実施する。</p> <p>1 西多摩健康栄養調査の結果等を基に、子どもの食生活の問題点や課題に対する認識を地域の問題として共有化し、関係者の役割、支援・協力等の体制の下に子どもの健康づくり行動目標を設定する。</p> <p>2 学校保健との連携を充実強化する。</p> <p>3 本事業を通じて、「東京都健康推進プラン21」の推進を図る。</p> <p>4 住民及び関係者の参加のもとに、地域ぐるみで活動することをねらいとする。</p>
事業内容	<p>1 ネットワーク会議の開催 3回 食にかかわる地域関係者(学校長、学校栄養士、PTA、養護教諭、在宅栄養士、行政栄養士、飲食店等)の連携を図る会議</p> <p>2 研修会の実施 1回 地域関係者による情報交換及び事例報告会</p> <p>3 健康づくり普及啓発用リーフレットの検討・作成</p> <p>4 関係調査の分析・解析</p> <p>5 連携の体制づくり</p>
評価	<p>1 地域関係者による問題点の共有化ができ、地域全体で取り組むことの確認ができた。</p> <p>2 関係者の連携体制を作ることができ、ネットワークのための協力体制が構築されつつある。</p> <p>3 関係者等の役割や、相互に支援協力する方法などについて協議し、連携を図るための具体的な活動目標が示された。</p>
問い合わせ先	<p>多摩川保健所保健サービス課栄養指導係 電話 0428-22-6141 ファクシミリ0428 23 3987 E-Mail S0200160@section.metro.tokyo.jp</p> <p>秋川保健所保健サービス課業務係 電話 042-596-2111 ファクシミリ042 596-4870 E-Mail S0200370@section.metro.tokyo.jp</p>

# 子どもの健康づくりを推進する ネットワークイメージ



## ネットワークを構築するための具体的対応策と連携・協力体制

(下線は具体的事業)

区分	子ども(保護者含む)に対して	連携・協力	関係機関・団体等に対して	連携・協力	地域に対して	連携・協力
学 校	食教育(授業)の推進 給食時間の活用 <u>親子料理教室</u> の開催	給食センター PTA、保健所等	TT(ティーム・ティーチング)等の協力指導 専門講師の依頼 学習ボランティア	給食センター 保健所、給食研究会等	食環境の充実 シボジウムへ参加 講演会等の開催	保護者、地域住民、PTA 連盟等
小中養護 部会	食生活学習の充実 <u>生活習慣病予防教室</u> の開催 リーフレット等の作成 講演会の開催	保健所、PTA、保健センター等	情報収集システムづくり 専門職講師の依頼 研修会の充実	保健所、保健センター等	地域健康づくりの支援 ネットワークづくりの推進	健康フォーラム、保健所等
給食センター	授業への参加、情報提供 <u>料理教室</u> の開催 リーフレット等の作成	学校、保健所等	<u>連絡会</u> の開催 食育の連携	保育園、保健センター、保健所等	健康栄養関連情報の提供 <u>給食展</u> の開催	学校、PTA 等
保 育 園	<u>親子で楽しい料理教室</u> の開催 キャンペーンの実施	保健所、在宅栄養士会、保育園、幼稚園等	<u>情報交換の場</u> の設定 専門職研修会の実施 専門家の養成、調査実施	学校、保健センター、保健所等	<u>買物アドバイス</u> 食教育の場	食品衛生協会、コンビニ、PTA、在宅栄養士会等
保 健 セ ン タ ー	知識の普及 離乳食・幼児食の相談 <u>離乳食講習会</u> の開催	関係機関等	保健栄養のあり方検討 情報提供 食生活のPR	関係機関・団体、民生委員、健康フェア等	<u>栄養講習会</u> の実施 <u>調理実習</u> の実施	市民サークル、町内会等
西多摩地区 栄養士会	<u>親子料理教室</u> の開催 子どもへの <u>栄養講話会</u> 栄養相談の実施	PTA、保健所、児童館、保健センター、保育園、幼稚園等	健康栄養情報収集提供 連携できる環境をつくる	保健所、保健センター、学校、PTA 等	<u>食の勉強会</u> の実施 <u>料理講習会</u> の開催	自治会、婦人会等
コ ン ビ ニ	学校教育への協力 <u>注文疑似体験教室</u> の実施 栄養成分表示の利用方法	学校、PTA、保健所、食品衛生協会、関係機関等	消費者の購買・消費動向などの情報提供 <u>情報交換連絡会</u> の開催、ホームページリンク等による支援	PTA、学校、関係機関等	ネットワーク会議への参加 他企業への参加の呼びかけ 「健康健康づくり協力店」の実施拡大	食品衛生協会、組合、保健所等
保 健 所	<u>生活習慣病予防教室</u> の開催 <u>健康づくり読本の作成</u> 「子どもの参加による <u>健康づくりシンポジウム</u> 」の開催 健康栄養情報の提供	学校、PTA、保育園、食品衛生協会、地域活動団体等	健康栄養関連情報の収集・提供システムづくり 関係者連絡会開催、講師派遣 指導者(栄養士・調理師等) 育成研修会の開催 関係情報の提供	関係機関、学校、PTA、在宅栄養士会、食品協会、自治会、婦人会、地域活動団体等	「西多摩健康フォーラム」で情報発信 栄養成分表示店の拡大 飲食店における食教育の推進 <u>ネットワーク会議</u> の開催 <u>健康づくり講演会</u> の開催	関係機関、地域活動団体、飲食店、食品衛生協会、組合等
P T A	情報提供 <u>講演会</u> 、 <u>シンポジウム</u> の開催 アンケートの実施	学校、保健センター、保健所等	連携を図るために、各種事業に積極的に参加する	関係機関、団体等	情報提供、交流	町内会、民生委員等

# ネットワーク会議の目指すもの

	平成14年度(実施)	平成15年度(予定)	平成16年度以降(予定)
	<p>問題や課題の抽出</p> <p>問題や課題の共有化</p> <p>役割、連携・支援協力方法等の確認</p> <p>活動目標・具体的な行動目標</p>	<p>役割、連携・支援方法などネットワーク機能確立のための検討</p> <p>活動目標、具体的事業実施のための検討</p>	<p>「連携推進会議」の開催</p> <p>活動目標の設定、目標(標語)の制定</p> <p>具体的事業の実施(関係機関の協力体制)</p> <p>子どもの食を通じた健康づくり連携体制の確立</p> <p>健康推進プラン 21</p>
実態の把握	児童・青少年の食生活調査(体脂肪測定) 既存の調査データの収集、解析	児童・青少年の食生活調査(体脂肪測定) 既存の調査データの収集、解析	児童・青少年の食生活調査(体脂肪測定) 既存の調査データの収集、解析
連携	ネットワーク会議(7月、11月、2月) 問題の共有化 関係者の役割、支援・協力方法 具体的活動目標	ネットワーク会議(専門部会の設置)	連携推進会議 健康づくり市民会議
研修	12月9日(月) シンポジウム 「子どもたちの食生活を考える～このままでいいの? 私たちの役割は!」	研修・学習の場(シンポジウム) 「子どもの参加による研修会」	研修・学習の場(シンポジウム等)
普及啓発	小冊子等の検討	小冊子等の作成	標語の制定・キャンペーン事業
目標	関係機関・団体等の連携づくり	関係機関・団体等連携の推進	食環境の整備(生活習慣病の予防等)